

地域福祉推進委員会でのサロンを開催して…

陸合北地区地域福祉推進委員 曾根さんの声

“最近、お茶飲みしながらおしゃべりする場所がなくなったね～” “前は散歩していると、寄ってお茶でもしてきなよって誘われておしゃべりしたもんだよね～（^^）”

要望の声からつどいの場を始めてみました。

特に男性は外に出るのがおっくうでしょ。でも、来てみたら楽しいんだよね。男性でも続けて来てくれているんだよ。

他にもあれやってみようか…これはどうかな…と。このつどいの場所

から広がって色々な場所ができ始めている。どこでも良いんだよね。自分の行きたい場所、やりたいことをつながりを持っていけば…ちょっとしたことでも気づくことができるし、助け合える仲間になれるからね!!

民生委員の私たちは… 小澤さんの声

夜なのに明かりが灯らない、洗濯物が干したままになっているなど、ちょっとした変化を気にかけています。地域のみなさんに身近に感じていただけるよう…信頼してもらえるよう…普段から挨拶や声掛けをしているんですよ。みなさんの周りに困っている人がいたら、遠慮せず民生委員か地域包括支援センターへ相談するよう伝えてほしいと思います。

約300人の民生委員は、行政と市民をつなぐ立場であり、高齢者の見守り活動においても中心的な役割を担っていただいています。

担当民生委員の問合せは福祉総務課まで
福祉総務課 福祉政策係 ☎ 225-2200

見守り活動事業を担当して…

配達の時や訪問の時に…あれっ?と思ったら協力事業者から市に連絡が入ります。連絡が入った方については、地域包括支援センターやケアマネジャーなどかわりのある人がいないか確認します。連絡がついて問題がなく過ごされていることを知るとホッとします。

市内では、お弁当・信用金庫・郵便局・新聞販売店・生協・農協・宅配など24事業者が見守り活動をしています。

福祉総務課 福祉政策係 ☎ 225-2200

緊急通報システムを使って… 中田さんの声

息子が近くにいるけど、すぐに駆け付けられないこともあるから…。ボタンを押すだけで来てくれるので、思ったように動けない一人暮らしの私は、10年以上前から借りています。まだ、緊急通報したことはないけどね（^^）

警備会社の方が、緊急事態が発生したときに適切な救援活動を行います。

介護福祉課 高齢者支援係 ☎ 225-2220

障がい福祉課 障がい者支援第二係 ☎ 225-2254

認知症高齢者等徘徊SOSネットワーク

認知症の方や障がいのある方が行方不明になった際に、すぐに警察などに情報提供ができるよう個人の情報を登録しておくものです。

これが見守りステッカー!!

認知症高齢者等徘徊SOSネットワーク登録希望者には、靴やかばんに貼付できる見守りステッカーをもらうこともできます。GPS（位置情報）端末も借りられるので気軽にお問合せください。

介護福祉課 高齢者支援係 ☎ 225-2220



認知症サポーターの声 ♡ 三橋さん、中山さんの声

サポーターになって…あの人“???”だったのがイライラもせず、その人の状態を受け入れられるようになりました。

講座を受けた子どもたちもやさしさが出てきていて、認知症にやさしい地域は、いろいろな人にとってもやさしい地域になるのだなぁと実感しています。一人でも多くの方に認知症サポーターになってもらいたいと思っています。



認知症サポーターとは、認知症に関する正しい知識と理解をもち、地域や職域で認知症の人や家族に対してできる範囲で手助けする人です。サポーターになるには、養成講座を受講していただきます。

介護福祉課 高齢者支援係 ☎ 225-2220

お二人が着ているオレンジ色のTシャツはこれです!!
RUN伴とは…
認知症の人や家族、支援者、一般の人がリレーをしながら、一つのタスキをつなぎゴールを目指すイベントです。

